



# プランクトンウォッチング～水のにごり調べ～

<b>活動のねらい</b> ●びわ湖の水のにごりの主な原因を知り、プランクトン観察を通して、びわ湖の水について考えるきっかけとする。	【時 期】 通年
	【場 所】 (船内活動場所) 学習室
	【時 間】 25分～40分
	【準備物】 プランクトンネット 顕微鏡 ビーカー スポイト スライドガラス フィルター ドリッパー プロジェクター デジタル生物顕微鏡

## 主な活動の流れ

### 事前学習

- 顕微鏡の使い方を学習する。
- 地域のため池、用水路等でプランクトンを採取し観察する。

### びわ湖の水のにごりの主な原因は何だろう

### フロートイングスケール

#### ① プランクトンネットによる採水を行う。

※先に「湖の子」水調べの学習を終えた場合は、場所によってにごりに違いがあることをおさえ、そのにごりの原因を明らかにすることを伝える。

- ・にごりを濃縮した水と、そのままのびわ湖の水を比べ観察する。

#### ② ろ過してにごりの原因を集める。

※採水はネットで行い、にごりの原因物質が濃縮された水であることをおさえる。

- ・ろ過前とろ過後の水を比べ、フィルターにごりの原因物質が集まったことを確認する。

#### ③ にごりの原因となっているものを顕微鏡で観察する。

- ・フィルターに集まったものをスポイトで採り、顕微鏡で観察する。
- ・見つけたプランクトンをしおりにチェックしたり、スケッチしたりする。
- ・デジタル生物顕微鏡の画像を映し、にごりの主な原因はプランクトンであることを知る。



※この後「湖の子」水調べの学習を行う場合は、このにごり具合(プランクトンの量)が、びわ湖の場所によって違うのかを次の活動で明らかにすることを伝える。



### 事後学習

#### ●プランクトンについて調べる。

- ・プランクトンがびわ湖の環境に及ぼす影響について調べる。

#### ●びわ湖や地域の水と自分たちの生活との関わりについて調べる。



# プランクトンウォッチング～水のにごり調べ～

## 学習会場図

### プランクトンウォッチング

【活動場所】

「2階学習室」

学習会場図

